

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地区内汚水整備事業			会計	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課			
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	つくばエクスプレス沿線整備区域内（新市街地地区等3地区）に居住する住民	意図	つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（汚水）整備推進により住環境の向上を図る。
事業内容	つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（汚水）の整備を推進することで、住環境を向上し区画整理地の整備・活用を促進する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年度に公共下水道計画(汚水)を作成。翌年、事業認可取得する。 土地区画整理事業の進捗に合わせた下水道整備を行うため、平成13年度に各土地区画整理事業者と施行委託に関する基本協定を締結。 基本協定に基づき、平成14年度より年度ごとに事業費負担協定を結び、事業を委託している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	各年度の整備面	27.40	10.60	35.30	ha	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	・区画整理の進捗に合わせて、下水道の整備を行っているため、区画整理事業者に事業の進捗が左右される。 ・H26打ち切り決算による未払い金171,694,500円は、特例的支出により下水道企業会計から支出した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	33,589,200	258,292,600	553,267,020				
事業費(b)(円)	23,915,200	247,750,600	543,656,020				
うち一般財源	△171,694,500						
職員給与費(c)(円)	9,674,000	10,542,000	9,611,000				
人役・職員(人)	1.40	1.40	1.40				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	つくばエクスプレス沿線土地区画整理区域内（新市街地地区等3地区）の下水道整備（汚水）を行う。	③取組の課題	土地区画整理事業の進捗に合わせた下水道整備を行う必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	つくばエクスプレス沿線土地区画整理区域内（新市街地地区等3地区・575ha）の内、35.3haを整備した。	④今後の改善計画	土地区画整理事業者と事業の進め方について、適宜協議・調整を行いながら、効率的に進めていく。